

## 当麻町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年の世界的に深刻な自然災害や日本国内におけるこれまで体験したことのない集中豪雨や猛暑等の頻発は、地球温暖化が原因とされています。

2015年に採択されたパリ協定では、「産業革命以前からの平均気温上昇を2°C未満とし、1.5°Cに抑える努力をする」ことが世界全体の長期目標とされています。

また、IPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）が2018年に公表した特別報告書では、気温上昇を1.5°Cに抑制するには、「2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることが必要」とされています。さらに、気候変動への対策は、持続可能な開発目標（SDGs）における17の目標の中にも掲げられています。

豊かな自然環境の維持と経済社会が調和し、町民が快適に、また安心して住むことができる環境を次世代に引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年3月2日

当麻町長 **村 椿 哲 朗**